

第2回青葉台フェスタ 開催概要決まる!

来たる9月23日(土)、24日(日)、歩行者天国となる青葉台中央通りを中心に、青葉台小学校と青葉台中央公園とをつないで2日間にわたって開催される第2回青葉台フェスタの概要が決まりました。

お神輿、和太鼓がお祭り気分を盛り上げるなか、各種のダンスや演奏、大道芸のほか、自由参加型のイベントやクイズ大会、ビンゴ大会等の幅広い企画が準備されています。キッチンカーや露店も集まり、食べる方でも気分を上げていきます。コロナ対応も緩和された中、若い力を感じられる盛大なフェスタとなることでしょう。(フェスタ広報担当)

◆主な開催場所と開催時間

第1会場：青葉中央通り(歩行者天国) 9:00~21:00

第2会場：青葉台中央公園 10:00~18:30

第3会場：青葉台小学校 10:00~18:00

※開催時間は変わる場合がございます。予めご了承ください。

※雨天の場合、イベントは変更又は中止する場合があります。詳しくはホームページにてご確認ください。

▲ポスターはイメージで完成版ではありません

市議会議員選挙候補予定者演説会+市議会へのお願い

5月20日(土) 10:00~12:00
自治会館1階集会室 聴講者約100名



▲写真左前列から、古寺会長、いさか和子氏、森山かおる氏、福田まさひこ氏、保坂よしのり氏、田中39PJ事務局長/後列左から、水野よしゆき氏、渡辺なおき氏、塚本としまさ氏、浜中ごろう氏

2月の県議会議員候補予定者演説会に引き続き、統一地方選挙となる市議会議員選挙候補予定者の演説会が開催されました。出席された候補予定者は青葉台に関係ある現職、新人を含む8名の方々です。最も身近な市議会議員選挙とあって集会室もほぼ満席の状態となりました。

候補予定者の皆さんからは、「一人ひとりの声を大切に」、「生まれ育った地域を次の世代に引き継ぐ」など市政に対する姿勢や立候補の意思表示。政策面では、高齢者や子育て支援の福祉政策はもとより、地域の経済政策では、人口減少に歯止めをかけ多世代を持続できる街づくり、

食をテーマに安心安全な街づくり。更に交通政策では高齢者のためだけでなく、今いる人たちに目を向けた公共交通の運行数減少対策制度化など、公示1週間前、今回の選挙にかける候補者皆さんの市政に活かしたい思い・信条をお聴きすることができました。

最後に、古寺青葉台町会協議会会長から、挨拶の中で候補者の皆さんに次のようなお願いがありました。

『私たち青葉台の先人達は「身近に市政を考える会」の活動を通して、提案した市議会改革により議員定数の削減や海外研修の廃止など市議会に大きな影響を与えてきました。その青葉台が今、大きな転換期に立っています。高齢化により町会役員のなり手がなく活動が低下しています。市制60周年に向けて、本協議会を法人化し、運営を専門職で行い持続活動を可能にしていきたい。市議会には全国初のモデルとしてこの活動を支援していただきたい。また、先の震災のとき避難所で町会加入者と非加入者の間でもめごとがあったようです。幸いにして青葉台の町会加入率は高いですが、災害があったとき早期に避難所を開設して人の命を救うのは自治会の役目です。市議会には町会加入は自由ではなく積極的に勧めて頂くよう働きかけをお願いします。』 (藪木)

姉崎高校1年生総合学習探求プログラム バーベキュー BBQ授業開催!

5月25日(木)13時より1丁目にあるapollo cultivateparkで、バーベキュー授業が開催されました。総合学習探求プログラムは、本校では2022年から導入されていますが、特定の教科の枠にとらわれず、生徒たち自身が主体的に課題を設定し、成果や研究結果を発表することを狙いとしています。今回の企画は、五井のオープンロード合同会社(小川代表)が主催し、共催・青葉台町会協議会、協力・市地域連携推進室で実施されました。

1年生160名が、10人でチーム編成しています。4月に行ったワークショップで、テーマを決め、食材選び、予算配分から当日の役割分担、片付けまでをチーム毎に調査し、話し合いながら準備をしてきました。食材の買い出しメンバーの到着でBBQスタートです。肉、野菜を切る係、焼く係、てきぱきと調理が進んでいきます。皆さん、外で食べるとさすがに美味しそうです。14時半から

片付けが始まり、これもテキパキ食べ物ロスを残さず終了。続いてチーム毎に集まり円陣を組み振り返り。メンバーの発言を聞き拍手があちこちの輪の中で起きます。最後に全員集合し、オープンロードの皆さんや39PJ事務局メンバーを前に、1年生を代表して坪井さんが、「地域の皆さんのおかげで素晴らしいBBQが体験でき、コミュニケーション力や団結力を一層増すことができました。今後の取り組みに活かしていきます。」とお礼の言葉を述べられ無事終了しました。

今後、本高校生が情報収集や調査に当たって、青葉台地域や皆様のお宅にお伺いする場合があります。どうぞ、よろしくお願い致します。(39PJ事務局)



青葉台町会協議会の改革 一般社団法人化活動準備始まる

日本全国の自治体は、少子高齢化による社会の変化で町会役員の成り手がいないというピンチに見舞われ、その対策を迫られる曲がり角を迎えています。青葉台町会協議会では、昨年度先進の自治体を調査するなど解決の糸口を探ってきましたが、専門職による

運営の仕組みを導入し継続的とするため一般社団法人化を3年間かけて仕上げていくことに舵を切りました。このために、協議会改革と同時に町会改革を進めていくことが必要となります。

現在、各町会役員会での説明会が始まっています。今後、町会の皆さんにも集会在設けられ、説明の機会がもたれる予定です。(39PJ事務局)

"Ohanaいっぱい活動"は3年目を迎えました 分野:美しい街づくり 課題:ohanaいっぱい活動

"Ohanaいっぱい活動"も3年目に入り、メンバー=ボランティアの方々の青葉台をお花がいっぱいの街にしようという熱意が一層高まっています。昨年の第5号でも触れましたが、苗の必要数は膨大で今年は2,500株ほどとなります。市販の苗を購入すると相当な金額になるため、活動のメンバーと育苗の協力をしていただける方により種から植えられる状態へ苗を育てています。それを市から支給される苗と併せて植え付けを行います。花の種類は、コリウス・なでしこ・キンギョソウ・ナスタチウム・松葉ボタン・トレニア・千日紅・ペンタス・

ガザニア・マリーゴールドと多岐に亘っています。これらを5月から6月にかけて街路樹花壇や公園の花壇に植え付けていきます。本号を皆さんがお読みになる頃には植え付けが終わっていると思います。この運動は自主活動として8丁目まで広がっており盛り上がりを見せています。お花に興味のある方やこの活動に興味のある方は、ぜひ植え付け等のボランティアに参加していただければ幸いです。皆さんのお力で青葉台をお花がいっぱいの街にしましょう。(大竹)

連絡先:浅野 0436-61-5946



▲中央公園の花壇の植え付け風景



▲青葉台8丁目のマンション入口に出来上がった花壇

